

【令和6年度 大和小学校PTA活動テーマ】

続けていくためにできることを

揖斐川町立大和小学校

PTA会長 細野 貴正

1 本年度のPTAの活動方針と活動目標, 児童・会員数

(1) 活動方針 「皆で協力し、持続性のあるPTAのカタチを目指していこう」

(2) 委員会の活動目標

委員会名	活動目標
学級子育て委員会	笑顔あふれる親子の時間を大切にしよう
読書委員会	「読み聞かせ」を通じて、親子のふれあいを増やそう
地区委員会	地域のつながりを深め 笑顔を増やそう

(3) 全校児童数及び会員数

全校児童数 103名

PTA会員数 95名 (保護者: 82名、教職員: 13名)

2 本年度のPTA活動について

(1) 児童や学校の実態に沿った活動の工夫

「アフターコロナ」を機に、本校のPTAでは、活動内容の精選や活動方法の見直しを継続して行ってきました。

それらの判断基準の一つは「会員の負担軽減」ですが、本校では特に、「児童自身の実際の様子」に着目したり、学校環境等でPTAとして取り組むことが、児童の成長に効果があることを見定めたりしながら、活動を工夫するようにしています。

① 児童の歯の健康に向けて

毎年2回開催され、PTA役員も参加する「学校保健安全食育推進委員会」は、健康面での児童の実態を知るよい機会となっています。そこで問題になったことの中に、「歯の健康が徐々にではあるが悪化傾向にある」ことがありました。具体的には次のような問題点です。

- ・う歯未処置率が令和4年4月の14.5%から令和6年4月の25.5%になるなど、10ポイントも上昇している。
- ・う歯罹患率が、9年連続で全国平均を上回っており、令和4年度からは、さらに増加傾向にある。
- ・近年、低学年児童の中に、歯垢付着を指摘される児童が出てきている。

この問題は、当然、学校の保健等で指導する内容ではありますが、学校だけに頼るのでは不十分です。家庭との協力が欠かせない、まさにPTAとして活動してこそ効果を発揮する課題だと考え、次の活動を行いました。

【増田学校歯科医による講演会の実施】

日 時：令和7年6月6日（木）13:15～13:55

場 所：大和小学校体育館

参加者：PTA約50名

内 容：子どもの虫歯の予防について（砂糖が原因）

大人の口腔ケアへの興味関心が子どもにも影響を与えている

※全校児童に、児童用の歯ブラシを寄付していただいた。



【給食試食会・食育講話・親子歯磨き教室（対象：1年保護者）】

日 時：令和7年7月3日（水）

12:05～12:50 給食試食会

12:50～13:35 食育講話（講師：白川 康子 栄養教諭）

13:40～14:25 親子歯磨き（講師：歯科衛生士 水野 彰子 様）

参加者：1年生保護者14名（全員）

内 容：給食試食会

- ・教室で親子が隣同士で給食を食べた。

食育講話

- ・学校給食の目標，栄養価，献立作成時の配慮事項（カミカミメニュー等）
- ・学校における食育（給食時間と学級活動について）
- ・家庭での配慮事項（偏食、興味、姿勢について）
- ・おすすめレシピ（野菜料理等）

親子歯磨き

- ・第一大臼歯の磨き方
- ・カラーテスト（磨き残しのチェック）
- ・仕上げ磨きの実習



② 親子清掃

例年、本校PTAでは、大和小学校運動会の前に、「親子清掃」を計画し、通学班の地区ごとに分かれ、学校内外の掃除を行ってきました。しかし、児童と会員数の減少や、熱中症予防のための取組時間制限など、今までと同じような活動量を確保できないのが現状となってきました。



そこで本年度は、「児童が運動会で気持ちよく活動ができる環境を整える」ことを第一の目的とすることで、活動内容の精選を行いました。

清掃は「運動場の草取り（一部は側溝の土砂取り）」のみとし、雨天の場合は中止とする計画としました。また、会員数分の草抜き道具を準備し、熱中症対策として、一人一本のペットボトル飲料の配布も計画しました（今年度は天候不良のため中止）。

(2) 会員の希望等を可能な範囲で実現する活動の工夫

先述した「会員の負担軽減」を望む声の要因は多々あり、PTA全体として対応していく課題であると捉えています。本校PTAでは、その解決策の一つを、「会員自身が充実感や満足感を感じられる活動を工夫すること」と考え、会員自身が学校行事に参加することで、そのような思いをもてるようにしました。

○ 巡回公演（名フィル）の参観

今年度、大和小学校は、文化庁の巡回公演に採択され、「名古屋フィルハーモニー管弦楽団」のコンサートを実施しました。このことは当然PTA会員の間でも話題となり、参観を希望する声が多くなったことから、学校担当者と相談し、「PTA協力事業」に位置づけることとしました。前日に参観用の椅子を準備したり、楽員のケータリングを援助したりすることで、多くの会員が参加しやすい環境を整えました。



当日は、40名ほどの参観があり、親子で楽しく、質の高い音楽を満喫する時間を過ごすことができました。

(3) 「持続性のあるPTAのカタチ」を目指した工夫

① PTA通信の作成方法

「会員の負担軽減」の具体策として、本年度から「広報委員会」を廃止しました。しかしながら、通算 160 号を越える伝統あるPTA通信「振育」を無くすには忍びなく、PTA活動の足跡を地域の方々にも知っていただく機会でもあるため、PTA本部役員が中心に、協力してくださる希望者と共に、年2回発行することとしました。

ネット印刷業者を利用したり、写真は学校から提供してもらったりと、会員の負担や経費の負担を抑える「持続性のあるPTAのカタチ」を工夫することで、この「振育」も持続して発信していけるようにしていきたいと考えています。



② PTA総会決議等のデジタル化

学校への「スマート連絡帳」の導入に伴い、そのアンケート機能を活用し、PTA総会の決議は、デジタル投票で議決しています。総会参加者の投票結果が、瞬時に集計されるため、「総会の成立確認」はもちろん、「議案の承認」が効率よく行うことができ、今後も活用を継続したいと考えています。



また、PTAの各委員会からのお知らせや、委員に対するアンケートなども、この「スマート連絡帳」を活用することで、印刷業務や集計業務等の軽減を図り、「持続性のあるPTAのカタチ」として取り組んでいます。

3 おわりに

「負担軽減」「なくせるものは無くす」等は、今後もPTA活動を継続していくために、避けては通れない課題です。私たち大和小学校PTAは、この1年間、「持続性のあるPTAのカタチ」を模索し、一定の成果を上げることができたと実感しています。しかし、忘れてはいけないことは、私たちの活動の本質は、子ども自身のためになっているかということだと思えます。常に「子どもの成長」を第一にする考え方こそ、本当の意味で「持続性のあるPTAのカタチ」なのかも知れません。